

令和2年度「平泉古事の森」育成事業 森林教室を実施しました

令和2年10月、今年度で11年目となる「平泉古事の森育成事業」を実施しました。

平泉古事の森育成協議会と岩手南部署が連携して実施している本事業では、奥州平泉の文化遺産と地域の森林・木材の関係を学び、歴史的建造物の修繕等に必要の大径木を育てる森林づくり活動等を通じて、ふるさとの森林・木の文化を支えるという意識を醸成するため、毎年、古事の森周辺の平泉町立平泉小学校（4年生）、長島小学校（5年生）、奥州市立衣川小学校（4年生）、衣里小学校（4年生）の児童に対し、座学と体験活動による森林教室を行っています。

例年、平泉古事の森（奥州市衣川 月山国有林 16 林班）において、植林・育林活動や森林教室を実施していましたが、今年度は新型コロナウイルス感染症対策として、バス移動や児童・職員など大人数による密集を防ぐため、各小学校にお邪魔して個別に開催することとなりました。

事前学習ではクイズに答えながら、奥州平泉の文化遺産と木材の関わり、森林の機能、森林づくりのための取組について学んで頂きました。

その後、児童たちが実際にノコギリを使って3種類（スギ・ヒノキ・ミズメ）の丸太を切る活動や、年輪をかぞえて木が成長するまでの時間の長さを感じる体験のほか、管内の国有林から採取した木の枝や葉、実などを使って様々な種類の木の特徴を学んだり、身近にある木工品に触れたり、森にいる生き物について考える森林教室を行いました。

4校児童の交流の機会とならなかったのは残念ですが、どの学校でも元気いっぱい、積極的に活動に参加して頂き、署職員も児童からの素朴な疑問・質問に改めて森林づくりの奥深さを感じつつ、楽しい時間を過ごすことが出来ました。各校の皆さん、ありがとうございました。

●令和2年10月6日（火）衣川小学校、10月8日（木）長島小学校、
10月14日（水）衣里小学校、10月16日（金）平泉小学校で実施しました

事前学習



丸太切り体験（スギ、ヒノキ、ミズメ）



最初は細い丸太に苦労していた児童も、徐々にコツを掴み、少し太い広葉樹（ミズメ）も切ることが出来ました。また、自分が切った丸太の輪切りを手にとって、匂いや年輪の数、木の種類による違いを確かめる様子や、切りくずを触ったり輪切りを積み上げたりと、思い思いに楽しむ様子も見られました。

年輪かぞえ (スギ、ヒバ)



森林教室

